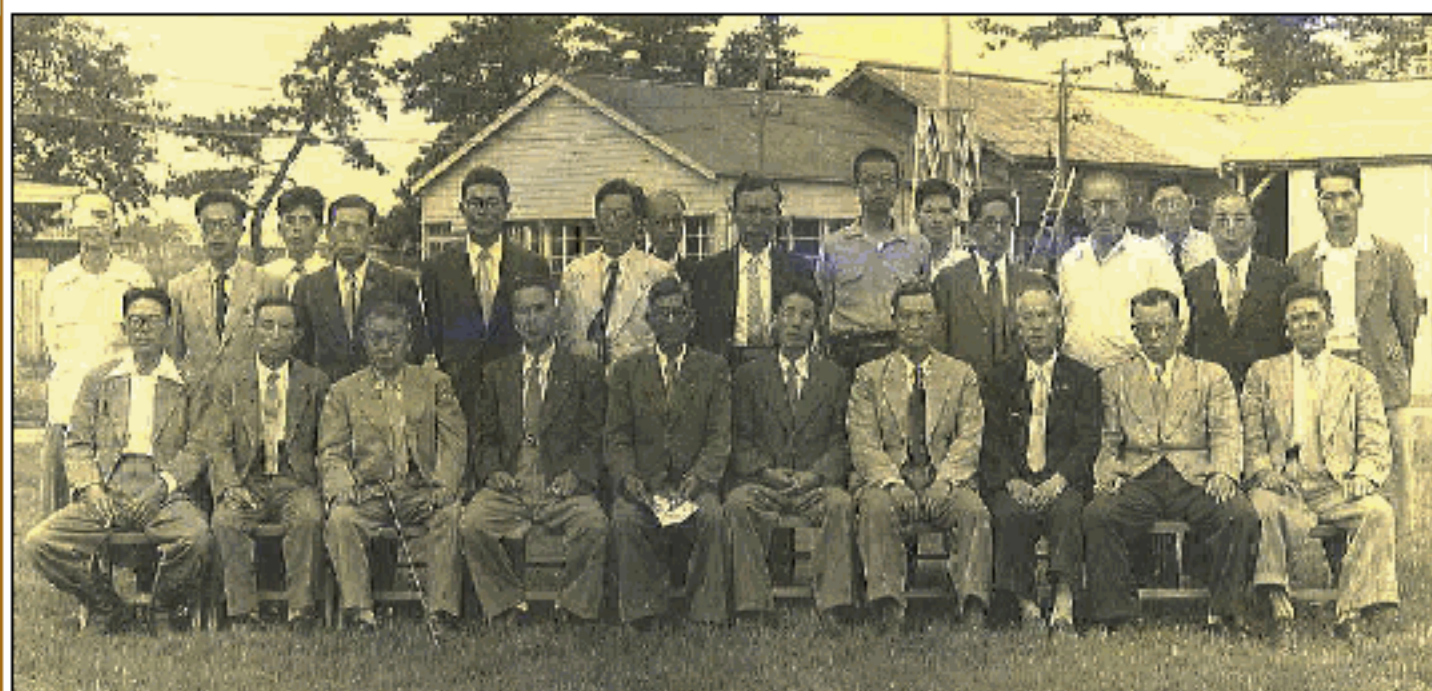


中支部50年の歩み



昭和27年12月6日 設立

諸先輩方に**手**間暇かけて育てて頂いた中支部が50周年を迎えます。資料を見ていると、建築士法が出来、誇りを持ちつつ**手**探りで支部を作ってくださったのがよくわかりました。**手**を褒え品を褒え新入会員を獲得したかもしれません。**手**にあまる時でも**手**を取り合って支部を盛り上げたのかもしれません。そんなことを**手**本に中支部を益々発展させ、100周年を迎える未来の会員に**手**渡す事ができれば良いと思います。

平成14年5月24日 総会

建築士会50周年 中支部の今昔

四代支部長
佐藤四郎 56歳



激動の半世紀の経緯の過程には、歴代の支部長さんをはじめ、役員さん、支部会員さん並びに関係各位のご理解とご協力を依り、当会がここまで発展してまいりました事、ここに敬意を表します。

初代吉野支部長には6年間にわたり発足初期の重責を担って頂き、二代支部長成瀬様には30数年間と永きにわたり会の確立に多大なご尽力を賜り、成瀬元支部長歴任終盤においては、坂田様が名代として、本部との連絡にあたりつつ、そのまま三代支部長に就任して頂きました。ふりかえってみるに、半世紀の間、会の動向も時代と共に変化してきましたが、先輩諸氏の話しを総合判断しますと、昭和30年～40年代は、設立初期とあって当時の関係者の方々の努力が功を奏し現在の基礎となり。昭和50年～60年代は、安定期にはいり旅行会等を中心に親睦を強化。平成初期年代は、年号が変わり世紀の移り変わりを期に、社会情勢もITをはじめ大きく様変わりした事を受け、若年層の参入促進を強化し、そのニーズに応え塾の開設、IT関係の講習等を開催し、発展するであろう将来に備え意識共々、転換しつつ改革中

“過去があるから今はあり

今があるから未来はある”

－継続は宝なり－

建築士に対するニーズは多様化され、我々も新たな、必要性が求められる様に思われます。

建築士会と言う組織を通じ研鑽され、会員の皆様ならびに、士会の益々の発展を祈念致します。



祝 創立五十周年

二代支部長
成瀬正義 91歳

神奈川県建築士会中支部結成50周年を迎えて誠に御目出度うございます。

中支部は昭和25年に国の建築士法が制定されたので県に建築士会が設置されました。此の運営の為に県下に支部を結成する事になり、昭和27年11月に横須賀支部が一番に発足し、平塚、秦野、伊勢原、大磯、二宮を地域として同年12月6日に県下2番目の支部として発足しました。

設立の総会は見附町にあった平塚医師会館の講堂でした。

現在は県下に9支部があります。

初代の会長は吉野建築事務所長の吉野秀雄様を選任されました。設立当時の支部事業として建築材料展・屋根材料を主として当時の見附町の平塚商工会議所講堂で市内業者の協力を得て開催しました。又平塚七夕まつりに協賛して建築展を見附町の市体育館で開催しました。

見学会は大磯の如庵、三井邸、吉田邸等会員の親睦を兼ねて伊豆方面へ松崎の長八寺等へ又市内の工場のご協力を得て関西ペイント平塚工場、三菱樹脂、パイロット万年筆、茅ヶ崎の東陶工場等を見学しました。

私は吉野会長の跡を昭和33年より引継、ついで坂田輝興さんにそして現在は佐藤様になられて居られます。

現在の社会は皆様も御承知の通り中々に前途の予測も出来がたい事で会の運営に付いても大変でしょうが会員の皆様のお知恵と努力により益々発展されますと共に会員諸氏のご多幸を祈念いたします。



時の流れ

三代支部長
坂田輝興 60歳

建築士会中支部創立50周年おめでとうございます。

昭和25年に建築基準法が施行されて数年の後に中支部が設立されたことに成ります。

当時を想像するに豊かな自然と対照的に破壊された街並み、軍需工場施設等の跡地が混在した地域で、街づくり、建築に向けての諸先輩方のエネルギーが伝わってくるようです。

以来、50年、国の発展とともに生活様式、価値観が変化した高度成長期も過去となり、環境も著しく変わり、造るから維持保全の時代に変化してきました。

私が支部長在任中、2期4年間は大規模地震災害に備えて、応急危険度判定士制度が出来、既存建築物の耐震診断や耐震関係基準の見直し、高齢者社会に向けてのバリアフリー、コンピューターの普及、品確法、産業廃棄物法の制定等により業態が激しく変化を求められた時期でもありました。

半世紀を経過した今日、動より静の時代にはいり、地球規模で資源の保護、環境保全の見直しの時期となり、以前とは違う建築の時代に入ってきたことを実感しています。

皆さん、時の流れに対応し、大いに頑張ります。

昭和28年度予算（概）			
収入の部		支出の部	
本部交付金	16,500	事務費	14,500
雑収入	5,050	会費	2,500
繰越金	1,375	事業費	5,000
なせ初年度に繰越金が…		予備費	925
合 計	22,925	合 計	22,925

28年度原案では寄附金¥20,000とあり会費以上に寄附金を期待したようです。さすがに無理と思ったのか予算案では削除したと思われます。

平成14年度予算（概）			
収入の部		支出の部	
本部交付金	595,000	事務費	56,000
雑収入	10,759	会費	450,000
繰越金	656,242	事業費	560,000
		予備費	196,000
合 計	1,252,000	合 計	1,252,000

平成14年度の事業費には50周年記念事業のため3年間積み立てた¥300,000が含まれています。



建築士会創立 50 年 中支部も創立 50 年 私も 50 歳

金子 孝 50 歳

建築士会に入会してから22年経ちますが、ここ5年前までは建築士会がどのような活動を行なっているのかわかりませんでした。勤務先の会長が中支部長だった事、建築士試験の申込書配布を勤務先で行なっていたくらいに認識しかなかったのです。

4年前坂田さん直々の会計推薦で戸惑いながらも引受ける事にしましたが、役員になって始めてナナメ塾という自由な発想の会が中に在る事を知り、またメンバーが活発で行動的なことには驚かされるものがありました。

建築士会としての活動の中ではやはり事業が重要な要素になるかと思います。今後もナナメ塾が中支部事業の推進役として、若い方々が中心となって活気を維持し発展をしていく事を願ってやみません。私も微力ながら会計という立場で、出来る環境作りを行なっていきたいと思っています。

私も本会、中支部と同様50歳になりました。今年3月に中学校のクラス会を催した折、恩師から「五十にして天命を知る」というお言葉を戴きました。天命とは運命、宿命の意味ともう一つ、自分がこの世に生まれて人間としてなさねばならない、天から与えられた役割即ち使命のことを言うのだそうです。また恩師はこの使命について「これからの君たちの使命というのは、自分自身の事ばかりでなく、もっと広く社会に目を向け貢献していく事だ」とおっしゃいました。

50周年にあたり、建築士会を通じて社会的貢献が何なのかをいくらかでも見出す事が出来れば幸いかと存じます。



50年後のナナメ塾

後藤奈緒美 28 歳

50周年ということで、50年後のナナメ塾について考えてみました。

まず、現メンバーは・・・（なにぶん、一番若くても自身の28歳ですので・・・）。考える余地もありませんでしたね。

では、近い未来として5年後のナナメ塾は？
――不況――。最近そう感じる事が多くなってきました。身近な人たちの給料カット、昇給ゼロ、ボーナスゼロ、そしてリストラ（実は自身も昨年末に・・・）。街にできれば、ついこの間までそこにあった店が、いつも利用していたガソリンスタンドが、コンビニが、ひっそりと閉ざされています。

そして突然出現する巨大なマンションやショッピングセンター。戸建住宅も（うらやましさからか、）やたらと目立つような気がします。本当に不況なの？疑問に感じることもありますが、やっぱり不況ですよ？

自身含め、ナナメ塾生も皆厳しい状況であるようですが、どこかに埋もれているチャンスはないだろうか？そんな思いがテーマになることも多くなるこのごろです。

ですが、実際のところはそんなチャンスはなかなか見つけることはできませんね・・・。いろいろな案はでてきても、――貧乏暇なし――というわけで中々うまくいきません。

ところで、5年後のナナメ塾ですが、パソコンを駆使したハイテク塾の経営を始めています。建築士育成塾とでもいいかもしれません。国家試験合格前の塾、そして建築士を育てる塾。

しかも、自宅で！パソコンで！勉強できる！いかがですか？ちなみに塾名も、ハイテク塾にふさわしく、――NANAME――なんて。

ナナメ塾？

縦軸に年齢、横軸に職種をとって人の集まりを考えると年代も職種も違う人同士はほとんど交わりません。会員には様々な人がいらっしやいます。そこでナナメの軸を考えるとどんな年齢、職種の人でもその軸に集まります。そんなナナメ軸を意識して集まっていたサークルの名前をナナメ塾としました。

- S27.11.15 支部結成準備会
 S27.11.25 支部結成準備委員会 15:00
 於 平塚建設協会会議室
 S27.12.6 支部設立総会 13:00
 於 平塚医師会館(平塚市役所前)
 支部長 吉野秀雄氏
 S28.7.11 講演会 新しき建築資材に就いて
 於 平塚商工会議所ホール 13:30
 天然色スライド(開会の辞原稿有り)
 S29.7.9 支部総会 東洋陶器茅ヶ崎工場見学
 S30.12.22 建築文化展示会 10:00~17:00
 ~ 28 於 見附台公会堂
 後援平塚市役所、平塚商工会議所
 S31.10.30 本会 第46回役員会(議事録有り)
 S32.5.25 建築製図講習会 於 見附台公会堂
 5/26,6/1,2 会員(推薦者)¥250 その他¥300
 S33.4.26 支部総会 懇談会会費 ¥200
 支部規程改正(平中支部→中支部)
 支部長 成瀬正義氏
 S33.6.20 支部長及び支部名称変更を
 本会に報告(下書き、CC有り)
 S33.10.30 本会 第60回役員会(議事録有り)
 S34.1.31 建設協会内の事務所は不都合である
 及び経費問題により事務所を平塚市
 建設課内にするよう平塚市長に要望
 S35.2.14 臨時役員会
 平塚不燃建設促進協議会発足及び
 基準法改正講習会について
 S35.3.1 基準法改正講習会 9:30~17:00
 於 見附台公会堂 63名 聴講料無料
 法令¥220仕入¥154 解説¥280仕入¥196
 総収益¥4102 支出¥36,558のうち
 懇談会費(天彦)¥17,780
 S35.5.8 支部総会 映画会(総会時入会者に
 建築士バッヂ¥280進呈)
 S35.7.6 建築と生活展 七夕まつり協賛
 ~ 10 入場者計17839人 収益¥1216
 S36.7.5 建築と文化展 七夕まつり協賛
 ~ 9
 S37.7.22 支部総会 厚木相模川鮎取り
 (1963~1984年 不明)
 S60.6.26 見学会 つくば科学万博
 (1986~1993年 不明)

- 1994.3.18 支部総会 支部長 坂田輝興氏
 8.28 見学会 宮ヶ瀬ダム
 1995.2.18 支部総会 於 平塚市民センター
 2.21 阪神淡路震災義援金 ¥100,000
 9.2~3 研修旅行 長良川温泉
 1996.3.16 支部総会 於 平塚市民センター
 9.5 博物館講演会「動く大地を読む」
 10.18 全国大会 福井大会にて
 矢作吉郎氏 伝統的技能者表彰
 1997.5.9 支部総会 於 平塚市民センター
 8.2 見学会 東電新エネルギーパーク
 1998.1.24 スキー旅行会 八千穂高原
 3.14 見学会 大磯旧吉田邸
 3.24 サークルをナナメ塾と命名(豪気)
 1998.4.17 支部総会 支部長 佐藤四郎氏
 10.9~10 研修旅行 柏崎刈羽原子力発電所
 11.13 全国大会 奈良大会にて
 坂田輝興氏 連合会長表彰
 1999.2.23 見学会 横浜ゴム研修センター
 1999.4.23 支部総会 於 平塚市民センター
 5.28 県建築基準条例改正説明会
 9.16 平塚市建築基準規則改正説明会
 2000.5.26 支部総会 於 平塚市民センター
 8.28 インターネット講習会
 10.21 見学会 伊勢原市立石田小学校
 11.23~24 研修旅行 日光・鬼怒川温泉
 2001.5.25 支部総会 於 宙李(そらり)
 11.24 見学会 江戸東京博物館他
 2002.5.24 支部総会 於 平塚プレジール
 支部規程改正 50周年パーティー
 支部長 田代茂夫氏



バス見学会 江戸東京博物館他 2001.11.24



二宮海岸
地引綱
右から
高橋 茂氏
池田和夫氏
大沼豊美氏
山田禄市氏



八丈島のはずが…
昇仙峡 1991.1.17



写真の取込みでは 成瀬産業(株)
根上さんにご協力頂きました。
ありがとうございました。



建築士会中支部創立 五十周年記念に際し

高橋 茂 87 歳

南方から復員し間もない頃、昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号によって建築基準法、同日第 202 号で建築士法、更に同日第 203 号で更正緊急保護法に同様第 204 号によって保護司法がそれぞれ誕生。正に四ツ子の存在で奇跡なり。兄貴分の建築基準法第 1 条は建築物の敷地の構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて国民の生命、健康及び財産の保護を図り、以って公共の福祉の増進に寄与することと人間の幸せをと言う意味である。それなのに皆んなが幸せであろうか？無暗矢鱈に高層ビルが建って北側の家は一日中日照がなく不健康である。又英気を鼓舞した富士山の英姿をも拝礼不可能となる。

然るに次兄分に当る建築士法にも些か関係あるとする事柄。東海道五十三次平塚宿江戸見附の東側に存在する 15 階ビルその 10 階部分、東面に結構大きい縦 4.50m 横 6.00m くらいの黄布地に白字抜きで天上高と記載されその下方に 4.00m と看板がてらのものが張られその下階 9 階には同様青布地に白字抜きハイサッシ、2.25m とある。9 階の方は直ぐに理解出来たが 10 階の天上高 4.00m の方は暫く暫時考えさせられた次第なる。天井高とあれば即時解ったのだが……これと似通ったことが 1985.6.26 つくば科学博会場で茨城建築士会会場で木材の継ぎ手に合決とあったこと、合決なら床板等の傍（横）矧ぐ場合に使う言葉で継手は相欠きと称するのだが…老いぼれの寝言で申訳無いお許しの程を。

次に弟分の更生緊急保護法に保護司法に就いてのこと。この老いぼれ 1963.5.25 より 1989.3.31迄法務大臣の委嘱を受け奉仕を続けたが、只程高いものは無しの通り保護司と反故紙を間違えてしまったので申訳なくお詫びを申し上げ表題に代えます。

尚、最後のお願いとなるやも分かりませんが徒然草（卜部兼好作）の第五十五段を是非一度ご見聞下さる様に。



随 想

三橋幸治 77 歳

建築士会創立 50 周年を心からお祝い申し上げます。

佐藤支部長さんからご依頼がございましたので想いだすままに書かせていただきます。

中支部は昭和 27 年 12 月 6 日に創立されたとお聞きしております。

当時は私の先代 故三橋広吉が伊勢原から役員として参加させて頂いておりました。会の事業としては、新建材の展示会や七夕まつり文化展のお手伝いにアロハシャツを会員各位が着ておられた姿が今でも思い出せます。私も代理で参加したこともございました。

昭和 38 年 5 月先代が交通事故で他界いたしました。

成瀬支部長のお勧めで役員のお仲間入りをさせて頂き、工事現場の見学会をはじめ親睦行事等が行われ楽しいことのみ多く開催された記憶がございます。

特に長良川の鵜飼いとか大阪花博や八丈島旅行が羽田で悪天候のため急に山梨の元湯温泉に変更してたいへん愉快に一夜を楽しく過ごしました。

今健在の会員各位には大変喜んでいただきました。想いだして下さい。

今過去を振りかへりますと、親睦行事は殆ど私が幹事でしたので良いことをしたとおもいますが、反面士会にご迷惑をかけたのではと少し反省もしております。

幸せなことは先輩の先生方に良く面倒をみていただきました。

深く感謝いたしております。

故人になられました諸先輩のご冥福を心からお祈りいたします。

建築士会のますますのご発展を心からお祈りして筆を置きます。

徒然草第五十五段 家の作りやうは、夏をむねとすべし。冬は、いかなる所にも住まる。……

造作は、用なき所を作りたる、見るも面白く、万の用にも立ちてよしとぞ、人の定め合ひ侍りし。



中支部 50 周年 おめでとうございます

駒澤東昭 75 歳

中支部50年の歩みを思うと多くの方たちと空襲の焼け跡に当時の街並みが思い浮かびます。当時からで亡くなられた方々の顔は平塚市の豊原稔、長塚庄吉前建築課長、吉野設計事務所、山口設計事務所、元寿倉組森谷輝明、星谷高雄、芦川市郎、匠建設佐藤会長、福原前社長、小島正志、加藤幸男、藤森軍三、秦野の笹瀬明設計事務所、大磯の辻設計事務所など各氏のご活躍がありました。

平塚市の産業祭りでは見附台体育館が展示場で中支部も参加して、材料、資材メーカーの協力を得て何回か建築展示をしました。会員が交代で出席して立ち会い説明をしたものです。

支部の総会は見学を兼ねた一泊旅行が多く親睦が深まったものです。懇親の遊船会で裸になって鮎を採り宴会をして、楽しく過ごしたことも当時の思い出になります。伊豆八丈島見学会で羽田空港まで行って天候不良のため出発中止で甲府の温泉地に急遽変更とするハプニングもありました。八丈島は一度行ってみたい所です。いまは見学会を一泊旅行で事業計画しても参加者が少なくできないようです。

中支部の発展には会員の増加が必要ですが毎年、建築士の登録をする人は多数ですが会に入る人は少ないようです。会員にならない理由はメリットがない、面倒だ、があるようです。特に行政関係の会員が中支部で少ないのはなぜかと疑問をもちます。支部発展のためには市、町のご協力をお願いしたいものです。

神奈川県建築士会の定款第3条 本会は、会員の協力によって建築士の品位の保持、技術の進歩向上を図り、もって建築文化の進展に資することを目的とする。第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。と7項目があります。

中支部はいま役員会のほかに上記の目的をもって青年部、女子部、ナナメ塾、と発展してコミュニケーションを広げて会員の参加を



中支部 50 周年に寄せて

池田和夫 74 歳

私と中支部との出会いは昭和33年頃かと思っています。建築基準法が昭和25年に施行された以前は、市街地建築物法等、警察署で許可を扱っていたと思います。

私も建築士になって1度中支部の総会と建材展に参加しましたが、当時は、サラリーマン建築士は地元の会合はなじまない出会いでした。

建築士は当初選考で1級・2級に分けられ、経験・技術年数で決められ、昭和27年頃から試験による建築士が生まれました。私も昭和27年に2級に、昭和31年に1級に合格した頃は職域ではその地位が将来決められたものもありました。

昭和39年に設計事務所を自立し、建築士会へも参加、地域の建築士が平塚市の産業まつりへの参加等盛大でした。特に成瀬産業会長 成瀬正義氏が長い間中支部の為指導され、地元の建築士会の発展のため尽力された事に深く感謝します。その後、坂田氏を初め現在のナナメ塾運営の皆様に感謝します。



左から続く

期待しています。参加しなければ会員同士が分かりません。まず参加して会員を知って地域を知って仕事にプラスになればと思います。

ナナメ塾から「支部会員の皆様へお誘い」の瓦版が届いていると思います。ご利用してください。

歴代支部長と役員の方々のご努力があって今日になっています。感謝いたします。支部50周年おめでとうございます。



ショート・ショート

井上勝男 37歳

建築士会中支部50周年おめでとうございます。中支部情報委員の井上です。

中支部50周年にちなんで50年後のある建築士の一日を大胆にも予想してみます。

小鳥のさえずりと共に起床したA氏は、窓の外をみて今日も良い天気だと歯を磨きながら壁のほうへ目をやり小さくうなずきました。壁は実はおおきなモニターでA氏の視線を感じて自動的にスイッチが入り朝のニュースが始まりました。と、同時にA氏あてのムービーが入ります。南極に工事に行っているA氏の部下のS君からです。いま、A氏が設計したリゾートホテルの工事の基礎工事が始まるところです。

「今日はこちらも天気がよく工事も進みそうです」。S君がいました。A氏はモニターの隅に目をやり南極用の厚手のコートを選び3次元カメラを目でスイッチオンしました。するとA氏は南極のS君が立っているすぐ横に並んで立ちました。コンピュータが作り出したバーチャル空間です。

A氏は360°ぐるりとあたりをみまわしてから「機材の準備もできてるし、ここまでは工程表どうりだな」来年の2月オープンするのになんとか間に合わせないと違約金を請求されてしまうからな。A氏はそう考えながらも「こんな辺ぴなところに本当に人が来るのかな」とS君に言いました。S君は「バーチャル空間が発達しすぎてみんな、なまじの所じゃつまらないんで辺境ツアーが大盛況らしいですよ」と言いました。A氏が「だから来年は月に同じ物を作るそうだ」。S君は「それは勘弁してください、地球から出るのはちょっと…、宇宙船恐怖症なんですよ」。

A氏はS君に今日の工事の指示をして3次元カメラのスイッチを切って朝食の準備をしながらつぶやきました。「辺境ツアーか、10年前はバーチャル技術が急激に普及して仕事が多々なくなった時があったな、6帖一間のアパートでも豪邸にできるから誰も建物を新しくしようなんてしなかったもんな。

月でも火星でも3次元カメラがあればどこでも家にいながら再現できるからな。こうして平塚の自宅にいながら南極で打ち合わせもできるし」。

そう言えば今年87歳になる祖父が昔、ディズニelandという実物大仮想空間があって何度も父にせがまれて連れていったていつたな。毎日すごく混んでいたって。当時は今ほどバーチャル技術が進歩してなかったからすべて本当に作ってあったって。

「Aさん郵便ですよ」今では珍しい本当の郵便が来ました。郵便物には「中断通知、月面1365号区ホテル建築工事、法28条に疑義あり、本状持参の上、月面南区域建築指導課まで来庁ください、月への来庁は駐艇場がありませんので、公共機関等を御利用ください」。やれやれ、月まで行くのか。



昭和27年当時の平塚の風景

(駒澤東昭氏提供)



湘南平 花見



港小学校

平塚裁判所



県営須加分譲住宅



花水橋



学生時代に岐阜の友人がいて、遊びに行っては長良川の川原で遊んでいました。5月下旬になると鵜飼見物の屋形船の中では楽しそうに宴会をしています。「俺もいつかは屋形船で宴会をしたい」と思っていたのですが、そんな望みが思わぬ形で実現することになりました。

7年前、支部役員のお話があり、とまどいながらもお引き受けする事にしました。役員会に出席すると、一番若いからという理由で本会の厚生委員となり、三橋さんにご協力頂き支部旅行の企画も担当することになりました。もちろん行先は長良川温泉！ 屋形船が目的です。

以来、支部運営に係わってきましたが、青年・女性サークルを作ったのが唯一の功績かなと思います。それが今、ナナメ塾と名前を変え、これほど活動的な会になるとは夢のようです。

過去の資料が歴代支部長に引き継がれているのを1,2度見たことがあり、いずれ資料を整理してみたいと思っていたところ、田代さんから記念誌を作りたいので協力してほしいと連絡を受け、喜んで冊子の編集を始めるため、資料の検討に入りました。当時としては当たり前だったのですが、丁寧に書かれたガリ版刷りのものや、カーボンコピーが多数出てきて驚かされます。なにもかもが手書きの資料を見ているだけで感動しました。

現在インターネットで複数の人にメールを送る時にCCを使います。カーボンコピーの略だということは知っていましたが、実物を見て改めて当時の大変さを感じました。

支部が元気を失わないように活動を継続していくこと、それを整理して記録に残すことが大切だとの思いを深めながら編集にあたった2週間だったように思います。

最後に原稿や写真提供をこころよく引き受けていただいた皆様に心から感謝致します。

松山克己 44歳



あ と が き



五代支部長 田代茂夫 51歳

自分が建築士会の会員であることに自覚をし、中支部の総会に出席してみようと思ったのが何年前だったのでしょうか？その頃に40周年の記念式典が開催されたように記憶をしているので10年少し前だったと思います。その時の印象では出席者の皆さんが年輩の方ばかりで、その中に入ることに大きな抵抗を感じたものです。それでもあたたかく迎えていただいたこともあり、その後研修旅行なども何度か参加をさせていただいたことが懐かしく思い出されます。当時の総会などはお互いに気心が分かり合った兄弟のようで、終始和やかな雰囲気で開催されていました。

平成9年に関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会がパシフィコ横浜で開催されたときに何名かでお手伝いに行き、若い世代の会員と話す機会を得たのがきっかけで、有志による勉強会を開催するようになりました。それが現在のナナメ塾であり、その存在感も大分大きいものになってきています。

10年一昔とはよく言ったもので支部の端に小さくなっていた自分が50周年を迎えた今、支部長という大役を果たさなければいけない立場にきているという現実にとまどいさえ感じておりますが、自分の周りにはあたたかく支えていただける先輩方と、やる気十分の若い世代に助けられながら頑張れば何とかなるだろうと言う気持ちになってきています。

その前に、総会の日に50周年記念式典をするに当たり記念誌を出したいと言い出した手前、急遽私設委員会をつくり、記念小冊子づくりに追われることになりました。結果的には松山さんに大きく依存することになりましたが思ったよりすばらしい出来上がりを目にすると、やはり作って良かったと言う思いが沸き起こってきます。

また編集に際し、原稿や写真をお願いしご協力頂きました皆様には改めて感謝申し上げます。

莊園法人神峯川縣建築十年後即支那復興

3

第一卷 蘇東坡詩集卷之六 蘇東坡詩集卷之六 蘇東坡詩集卷之六

本文節以二庫帝道中解內之歷化天口直勢字今經臣法人柳龜川輯定其全以下并

本支那は金銀銅鉄の視察探検を断り方って本公司の専断意に依りてんこととす

能く思ふ

一 染に因する病今又焼酎の争ひ激化

新定會要卷之四

西前若原の櫻の石のいはか本寺の目録に應永十三年の火災の事案
 本寺の西勢内は正泰元年火災酒屋へ移出草塚に於て火災に罹り

大塚 本太郎の経實は片金よりの文行堂大館を賣及所附をその津としたりと夫等と云

史評欽 一卷

卷之四
詩經

會計 二月

第九卷 訓及部長は文部省に附託して文部省に認めらるるものなり。同様の職務を代行する。

金計以成史志疑理考也

又補心氣助元陽其功新專心主遠仁主仁文在公仁新事及密辭曰夫引經之

[illegible]

本支部は、密害に及ばぬ投資金の確保を主と相談院を置くこととした。

[illegible]

足下思余寸函未達通什一二處一

校を委員に送付し、その御成金の一文上の出所を改正する

一、此系 通審文詳錄全同等年一旨中品詩文都題全同又朋友要上錄のたふと又同本文

部が、各々、其の目的を以て、それぞれに、

第九八葉 埋蔵金は原則として毎月一圓及び五円未満を認め、これを積集し、没収の適当

方十九葉 其部教は在學に悉じ役員會の議下種々學務會を致けり云々ハ云云

二、次郎の志す

子罕學張敬亭

兩成總約之責重哉應用仁國書局藏

[illegible]

設けぬ一書ありてあり

二、最期に送るべきは後員の位明可本機物に示す如く酒類ニ有る年十二月三十一日迄ノ

佐々木 將軍の御下で半邊の肴の仕度には、九月二十一日迄とす。